

2018年度 事業計画

(2018年4月1日から2018年3月31日まで)

伝統のかおり 高き学園を目指して

学校法人 修道学園

2018年度 学校法人修道学園事業計画

＜法人本部＞

主要項目	具体策	所管部局	実施月
1 法人運営の充実	(1)法人運営の効率的で円滑な推進 ・常務理事会の機能等の検討 ・課題に応じたワーキンググループの編成	法人事務局	年間
	(2)三様監査の充実 ・監査法人との密な連携	法人事務局	年間
	(3)設置学校の変更に伴う対応と所轄庁等への諸手続き ・鈴峯女子中学校・同高等学校の共学化と校名変更への対応 ・寄附行為の変更、学則等関連諸規程の改正、整理 ・関係所轄庁等への諸手続き	法人事務局	年間
	(4)人事、給与等処遇に係る基本的事項の検討 ・有期雇用の無期雇用転換への対応 ・定年制、職務及び給与体系等の検討	法人事務局	年間
2 資産の運用	(1)大学部 運用目標5億円	法人財務課	年間
3 施設の整備	(1)中高部 ・「修道学問所之蔵」の文化財認定一登録 ・本館の建替計画の策定	法人財務課 法人財務課	9月 年間
	(2)鈴峯中高部 ・新校舎の建設(竣工)	法人財務課	年間
4 その他	(1)学園創始300年に向けて 諸事業の準備 (2)寄付金の募集	法人事務局	年間

2018年度 学校法人修道学園事業計画
 < 広島修道大学 >

主要項目	具 体 策	所管 部局	実施月
I. 法人の合併			
1 合併等への対応 (設置学校への対応)	①附属鈴峯女子中高の人事給与システムの充実	総務部	通年
II. 教育組織・教育支援体制の構築			
1 教員組織の充実	①研究指導教員及び研究指導補助教員の充足、充実	各研究科	通年
2 研究支援体制の充実	①人を対象とする研究倫理審査の実施と運用の検討 ②学生・大学院生に対する研究倫理教育の実施 ③産学官連携リスクマネジメントの検討	ひろみらC	通年
3 教育組織の検討	①学部等改組後の大学院のあり方についての検討	総合 企画課	通年
III. 教育課程—新カリキュラムの策定と新学事暦の導入			
1 新設学部等の円滑な 運用	①国際コミュニティ学部等の教育課程の運用支援 ②設置計画履行状況等調査への対応 (教育学科3年目、健康科学部2年目、国際コミュニティ学部初年度)	教学C	5月
2 資格課程等の設置	①教職課程再課程認定申請業務の推進 ②臨床心理士養成大学院の指定申請 (日本臨床心理士資格認定協会) (公認心理師国家資格へのカリキュラム対応にも留意)	教学C	4月～12月
3 2017/2018年度改正 カリキュラムの運用	①新学部も含めた全学カリキュラムの円滑な運用 (2018年度より法学部・人間環境学部の新カリキュラム運用) (4学期制・ナンバリング等の導入2年目、体験型学習の推進等に留意)	教学C	4月～1月
4 全学共通情報教育の 検証	①新カリキュラムにおける全学共通情報教育の検証 (履修状況・学習状況の把握・分析を行い、運営上の課題を把握)	情報C	通年
IV. 学生の受け入れ—外部環境の変化への対応			
1 入試制度改革等	①本学の「大学入学者選抜改革」の検討、実施 (2021(平成33)年度大学入学者選抜実施要項の見直し内容に基づく) ②修大ひろしま協創高校からの附属校推薦入試基準、推薦枠の検討 ③AO、公募推薦入試におけるインターネット出願の実施 ④受け入れ留学生の確保 ⑤大学院入学者の確保	入学C	4月 9月 4月 通年 通年
V. 学生支援・学習支援			
1 学生の危機管理意識の 向上	①法令順守の意識向上のための研修会の開催 (県警サイバー犯罪対策課による講演会等) ②SNSの正しい使用について指導、周知徹底 (修大基礎講座、成績発表時ガイダンス等) ③危機対応・防災への意識・知識の向上 (「危機対応・災害対応マニュアル」の作成／全学生・教職員への配布)	学生C ・ 学生C ・ 総合 企画課	通年 ・ 5月・3月 ・ 4月
2 障がいを持つ学生への 支援	①障害者差別解消法に基づく障がいを持つ学生への支援体制の整備 ②学生ボランティアの登録・養成の推進 ③障害者支援機器の貸与・整備	学生C	通年
3 健康科学部、国際コミュニ ティ学部の進路・就職先の 検討及び開拓	①健康科学部、国際コミュニティ学部の特色に副った進路・就職先の検討 及びアプローチ	キャリアC	通年
4 学習支援体制の拡充	①修大基礎講座におけるプログラム見直しの検討 (部局授業のあり方を含む) ②初年次教育のあり方と実施内容の検討 (入学準備学習を含む)	学習 支援C	通年

主要項目	具 体 策	所管 部 局	実施月
VI.グローバル化への対応と地域社会の課題解決に取り組む人材の育成			
1 グローバル化の推進	①留学プログラムの派遣推進 ②各種留学プログラムの検証・見直し ③留学生の就職支援・就職先開拓	国際C	通年
2 学習、教育と交流の連携	①グローバル科目の検証・履修推進 ②グローバルコース制度(見直し)に基づく広報、運用、検証	国際C	通年
3 「Nextひろみらプロジェクト」の推進	①教育領域の継続(地域イノベーションコースの支援) ②社会貢献領域(ひろみらイノベーションスタジオ)の推進 (地域活性化につながる持続的な仕組みづくりの支援)	ひろみらC	通年
VII.財政・施設設備の充実			
1 事務システムの改善	①旅費支給方法の見直し(運用基準の作成を含む) ②業務におけるより効率的な移動手段・体制の整備 (移動手段の拡充、交通系ICカード利用について検討) ③国際学会補助制度の見直し ④職員の人事考課制度の検討 ⑤新給与体系導入の検討(職員の定年延伸の検討を含む) ⑥4学期制に伴う各種給与手当の検討 ⑦人事システムの更新及びクラウド化の検討、計画作成 ⑧新財務システムの導入と活用 (新システムの円滑な運用推進、法人内の財務分析活用)	総務部 財務部	通年 3月
2 校舎等建替計画後の計画営繕事業の見直し	①校舎及びインターナショナルハウス等の老朽化に伴う、営繕工事の優先順位等の見直し	財務部	3月
3 情報環境の整備	①教職員用サーバのns1(mail、個人Webサーバ)をはじめとする各種サーバ及びFirewall等のシステムの更新 (あわせてセキュリティを強化するシステムを構築)	情報C	9月
4 図書館設備等の更新	①LIBCDSNサーバ(利用者用PC管理用サーバ)の更新 ②OPAC用PC及びプリンタの更新 ③老朽化に伴う入館ゲートの更新	図書館	4月 ～ 2月
5 明治法曹文庫の書誌情報データ化と装備	①明治法曹文庫の書誌情報のデータ化と装備の完了	図書館	通年
6 電子ジャーナル及び洋雑誌の活用推進及び整理	①利用状況を把握のうえ、学修・研究上有用な電子ジャーナル及び洋雑誌の活用を推進 ②アクセス数を精査し、利用の少ない電子ジャーナルを整理	図書館	通年
VIII.自己点検・評価			
1 認証評価の申請(大学基準協会)	①大学基準協会第三期認証評価申請・受審 (点検・評価報告書等申請書類の提出(4月末)) ②大学評価分科会委員による実地調査(2日間(9月下旬～10月下旬))	総合 企画課	通年
2 中期事業計画の策定	①2019年度以降の中期事業計画の検討・策定 (IRシステムの活用を含む)	総合 企画課	通年
IX.本学を取り巻く人々との連携推進			
1 本学を取り巻く人々との連携推進	①寄付事業体制の整備 (寄付システムの導入、リーフレットの作成・配布等) ②後援会特別事業の実施 (特別事業としてウッドデッキ等を整備)	総務部	通年
X.附属鈴峯女子中高との連携			
1 附属鈴峯女子中高との連携強化	①高大連携事業の推進 ②修大ひろしま協創中高の開校支援等	総合 企画課 ・ 関連部局	通年

2018年度 学校法人修道学園事業計画

＜中高部＞

【教員の部】

主要項目	具体策	所管部局	実施月
I. 学力の向上	1. 大学進学実績の向上 ①大学入試改革を見据え、進学実績向上のために必要な学力を向上させるために、各教科の授業改善、教員間の連携等について関係部署と協議しながら推進する。	中学教頭・高校教頭・教頭補佐	通年
	②数値目標の達成に必要な各部署の課題を明確化し、定期的にその解決の状況を確認する。	中学教頭・高校教頭・教頭補佐	通年
	③東大20名以上合格を数値目標として、志望者の増加に向け、生徒に対する進学指導、模擬試験対策、進学情報提供を強化する。また、生徒に対する直接的な働きかけ方を見直す。	進路部 教務部	通年 通年
	2. 学力観の見直し ①評価の多様化への対応として、授業へのアクティブラーニング導入拡大を引き続き図るとともに、主体性・多様性・協働性については生徒の能力が高まるような評価を行うための研究を行う。 3年で英語数学の到達度別授業編成、4年で年度途中でクラス替えを前提とする到達度別クラス編成の導入を検討する。	教務部	通年
	②2018年度に再構築された教務システムの利便性を高めることで、生徒の学力等を含めた情報の教員間での共有密度を高め、初級中級上級の三段階構想をハイレベルで継続していく。		
	③新教務システムの運用状況を注視し、よりよい評価システムの構築を目指す。ICT関連の整備を引き続きおこない、新しい学びを推進するための研究を引き続き行う。	中学教頭	通年
	3. 学習意欲の向上 ①1・2年のセミナー合宿を実施する。	進路部・担当学年	8月
	②4年の東大見学ツアーを実施する。	進路部・担当学年	8月
	③5年の東大・京大セミナーを実施する。	進路部・担当学年	8月
	④中級からの成績優秀者を顕彰する。	教務部・担当学年	通年

	⑤ 6年の到達度別クラス編成を実施する。	教務部・担当学年	通年
II. 国際理解教育の充実	<p>1. 関連行事の実施</p> <p>① 2019年度3年次（2018年度の2年生が該当）から実施予定であるフューチャー・リーダーズ・プログラムの実施に向け準備を進める。</p> <p>② 3年の希望者によるオーストラリア海外研修を実施する。</p> <p>③ 3・4年生の希望者によるエンパワーメント・プログラムを実施する。</p>	<p>育成部・高校教頭</p> <p>育成部・高校教頭</p> <p>育成部・高校教頭</p>	<p>通年</p> <p>7月・8月</p> <p>12月</p>
III. 倫理観の向上	<p>1. 規範意識や倫理観の育成</p> <p>① 遅刻指導, ICT機器の利用におけるリテラシー指導を学年と連携して強化する。</p> <p>② 交通安全に対する意識の向上, 公共交通機関利用時のマナーの向上を目指す。挨拶の励行を促進する。</p> <p>③ 体育祭などの学校行事や宿泊行事の内容や実施時期について、新しい入試制度に対応できるよう再検討を行う。</p> <p>2. 自治向上の精神の育成</p> <p>① 生徒の主体性を重視した生徒会活動や班活動を通して, 創造力や忍耐力, 協調性を育み、何事も自分で切り開いていく力を養う。</p>	<p>生徒部</p> <p>生徒部</p> <p>生徒部</p> <p>生徒部・高校教頭・教頭補佐</p>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p>
IV. 教育力の向上	<p>1. 人事考課の実施</p> <p>① 校長面談において確認された各教員の単年度目標の機能的展開が可能となるように「個人事業計画書」を吟味し、その計画の実現に向けて、適宜現場での人事配置、業務改善を図る。</p> <p>② 人事考課が公正に行われるよう、授業観察、教員へのヒアリング等を通して多角的なデータの収集を図る。</p> <p>2. 教員研修の充実</p> <p>① 文部科学省が掲げる「教育の情報化による学びのイノベーション」に本校として対応するため、アクティブラーニング型の授業とも絡めながら、導入予定あるいはすでに導入した教育 ICT に関する機器について、その教育効果を最大限に引き出すための調査研究を引き続き行い、適切な教員研修のあり方を探る。</p> <p>② 前年度見直した初任者研修をさらに進化させ、実りある研修とする。</p>	<p>中学教頭・高校教頭・教頭補佐</p> <p>高校教頭</p> <p>教務部・中学教頭・高校教頭・教頭補佐</p> <p>中学教頭・高校教頭・教頭補佐</p>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p>

V. 生徒募集の充実	1. 広報活動の工夫 ①スローガンではなく、教育活動の結果を示すスタイルで広報活動の充実をはかる。	中学教頭	通年
------------	--	------	----

【職員の部】

主要項目	具体策	所管部局	実施月
I. 事務室の機構改革	教員の事務作業負担の軽減を目指し、事務室が受け持つことができる業務を洗い出し、検討を加え、可及的速やかに事務室業務に移管する方策を検討する。	事務長 総務課	通年
II. 新本館建築に向けての計画検討	創立 300 年記念行事の一環としての本館新築計画をスタートさせる。	財務課	通年
III. 寄付金制度の構築	グローバル教育の実施、教育環境のさらなる充実を目指し、恒常的な、本校独自の寄付金制度の確立を模索し実施する。	事務室	通年
IV. 浅野入城 400 年に向けて、記念事業の計画検討	2019 年に予定される浅野入城 400 年記念行事に向けて、県市の動向を注視しつつ、藩校としての自己主張の方法を検討する。	事務室	通年
V. 創始 300 年に向けて、記念事業の計画検討	長期的視野に立って、学園史編纂、記念事業の計画立案を行う。	事務室	通年

2018年度 学校法人修道学園 事業計画
 <広島修道大学附属鈴峯女子中学校・高等学校>

主要項目	具体策	所管部局	実施月
I 「目標管理」を原理とした自律的学校経営体制の展開 1. 学校組織全体に「目標の連鎖」が成立している。	①新しい学校づくりに向けて、学校改革を組織的・計画的に推進	管理職	年間
	②事業計画をブレークダウンした学校経営計画の作成と円滑な校務運営	管理職	年間
	③全教職員による自己申告書の提出と管理職によるヒアリングの実施	管理職	5月・10月
	④学校経営計画の評価結果の分析及び改善方策の策定と実施	各部長	10月
2. 部長・主任を中心として、各部・学年・コース・教科が自律的に校務を運営している。	①年間を見通した各経営計画の作成	各部・中学・学年・コース・教科	4月
	②各部、中学、学年、コース、教科の各経営計画の評価結果の分析及び改善方策の策定と実施	部長・中学・学年・コース・教科	10月
II 適切な教科マネジメントによる学力の伸長			
1. コースやカリキュラム内容の充実が図られている。	①高3特進コース・高2・1プログレスコース（PA）の受験科目の指導強化	教務部・P主任	年間
	②高3文理・グローバル選択、高2CC・PAの進学指導の強化	教務部・高3・高2学年主任	年間
	③高1CCコースの進学指導の強化	教務部・高1学年主任	年間
2. 学力伸長のための教科指導が適切に推進されている。	①教科ごとにきめ細かく明確な経営計画を定め、生徒の学力を確実に伸長させるとともに、生徒が理解を実感できる授業の推進	教務部	年間
	②学力伸長のためのシステムチックな方策（模試対策、朝学習・週末課題及びその評価、家庭学習時間の増加促進等）と授業がリンクした教科シラバスの作成及び進捗状況の把握と評価	教務部	年間
	③教科ごとの模試偏差値到達目標値の設定と効果的な学力指導の推進	教務部	年間
3. 教科指導力の向上が絶	①教務部を中心とした教科指導力向	教務部	年間

主要項目	具 体 策	所管部局	実施月
<p>えず組織的、計画的には かられている。【重点事 業】</p>	上に係る情報の発信 (ICT も含む)		
	②全教員の所属教科及び所属教科外 授業参観による指導力アップ自己 研修の推進	教務部	年間
	③教科指導方法の改善に係る校内研 修の実施と校外研修会への計画的 な参加の推進	教務部	年間
	④国語・社会・数学・理科・英語の 教科指導の工夫・改善のための広 島修道大学との連携による研修会 の定期的な実施	教務部	年間
	⑤生徒の授業アンケートの実施と授 業への反映	教務部	7月・12月
4. 新たな学校づくりに向 けて、新カリキュラムの 作成とそれに基づいた 各教科の教育内容充実 が図られている。	①新カリキュラムの作成及び作成主 旨の各教科への徹底	教務部・教科	6月
5. 各種検定資格取得のた めの教科指導の充実及 び生徒への受験指導が 推進されている。	①教科シラバスへの組み入れ	教務部・教科	4月
Ⅲ 生徒の進路目標を 実現するための方策を 組織的・計画的に展開			
1. 具体的な進路数値目標 を設定し、必要な方策を 組織的、計画的に展開し ている。	①進路指導計画 (進路シラバス) の 作成と進捗状況の確認	進路部	年間
	②進路数値目標 (4大・偏差値等) の設定と教科との連携強化	進路部・教務部	年間
	③進路部と学年、教科との進路シラ バス進捗状況の相互確認	進路部・学年主 任・教科	4月・8月・12 月
	④模試分析結果を教科指導内容や補 習、週末課題等に速やかに反映	進路部・教務部・ 教科	模試終了後
	⑤進路別小論文指導の充実	進路部	
	⑥スタディサプリ及びクラッシーの 次年度に向けての課題の検討	進路部・教務部	年間 年間
2. 「人間力」を育むキャリ ア教育を推進している。	①キャリア教育に係る進路シラバス の作成	進路部	4月
3. 国際交流活動・国際理解 教育を組織的、計画的に 推進している。	①広島修道大学との連携による各種 国際交流活動の企画と推進	庶務部	年間
	②海外研修制度の生徒・保護者への 周知と参加の推進	庶務部・CC主 任・外国語科	5月
4. 生徒・保護者のニーズへ 迅速に対応している。	①保護者を対象としたキャリアセミ ナーの実施	進路部	年2回

主要項目	具 体 策	所管部局	実施月
<p>IV 社会人として必要な資質・能力の育成</p> <p>1. 生徒の学校生活の活性化を積極的に図っている。</p> <p>2. 自律心や規範意識・徳性などを育むための生徒指導等を組織的・計画的に展開している。</p> <p>3. 生徒の自立心を育むために、教育相談活動等の充実を図っている。</p> <p>4. 中途退学者の抑制に努めている。</p> <p>5. 新校舎及び男女共学化に向けてのスムーズな移行をはかっている。 【重点事業】</p>	②「進路のしおり」等による保護者・生徒への情報発信	進路部	年間
	①生徒自治会役員の行事企画能力(体育祭・文化祭等)、運営・実践能力の向上指導	生指部	年間
	②生徒自治会主催の活動(挨拶・マナーアップ運動等)の支援	生指部	年間
	③生徒自治会の各種委員会活動の活性化(各委員会の定期開催等)	生指部	年間
	④生徒が主体的に学校行事に参加するための方策の検討	生指部	1学期中
	⑤部活動加入率を高めるための方策の検討	生指部	4月
	⑥部活動所属生徒の在籍、退部状況調査の実施とその分析	生指部	12月
	①全教職員による服装、身だしなみ、挨拶等の指導の徹底のための強化週間の設定	生指部	各学期2回
	②安全教育(交通安全・薬物・校内安全等)及び性教育等の各種講演会を通じた生徒の意識向上	生指部	各年1回
	③全校集会、学年集会等を通じた自立心、規範意識、徳性の涵養	生指部・学年主任	適宜
	④遅刻防止指導の徹底と保護者への周知徹底	生指部	年間
	⑤携帯・スマートフォン・SNS等の適切な使用についての指導	生指部	各学期
	①スクールカウンセラーの積極的な活用とスクールカウンセラーと連携した担任による生徒面談の実施	生指部	年間
	②スクールカウンセラーと各学年との連携のための連絡会の設置	生指部・学年主任	各学期
	①中途退学者防止のための関係者会議での情報共有と早期対応	生指部・学年主任・財務課	年間
	①学校生活ルールの作成	生指部・庶務部	8月

主要項目	具 体 策	所管部局	実施月
<p>V 教育ニーズの把握と情報発信により、保護者・地域から信頼される学校づくり</p> <p>1. 年間を通じて組織的・計画的な情報発信を展開している。</p> <p>2. 保護者と教職員との信頼関係が構築されている。</p> <p>3. 組織的・計画的な広報活動により多くの受験志願者を獲得している。 【重点事業】</p>	<p>①学校に係る情報の積極的な発信 (ホームページ更新、「学校通信」発行等)</p> <p>②三鈴会、同窓会への学校に係る情報発信と連携強化</p> <p>③地域への学校に係る情報の積極的な発信と連携強化</p> <p>④地域貢献活動への参加(広島修道大学との連携も含む)</p> <p>①保護者・生徒アンケートの実施</p> <p>①ひろしま協創中高創設と男女共学化の効果的な広報活動の推進</p> <p>②オープンスクール、学校説明会等の内容充実</p> <p>③学校・塾訪問等による募集活動の強化</p> <p>④広島修道大学との連携による効果的な情報発信</p>	<p>企画部・庶務部</p> <p>庶務部・総務課</p> <p>庶務部・総務課</p> <p>庶務部</p> <p>教務部</p> <p>企画部</p> <p>企画部</p> <p>企画部</p> <p>企画部</p>	<p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p> <p>2学期中</p> <p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p>
<p>VI 施設設備の充実と環境整備【重点事業】</p> <p>1. 新校舎建設に向けて取り組んでいる。</p> <p>2. 事務システムの改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>3. 新校舎へのスムーズな移行に向けて取り組んでいる。【重点事業】</p>	<p>①中学・高等学校の新校舎建設竣工</p> <p>②旧短大E・F・G棟改修工事完了</p> <p>③中学・高等学校現校舎解体工事</p> <p>①学園財務システムの構築</p> <p>①生徒、教職員の新校舎へのスムーズな移行</p>	<p>財務課</p> <p>財務課</p> <p>財務課</p> <p>財務課</p> <p>生指部・庶務部・財務課</p>	<p>6月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>通年</p> <p>8月</p>